



新幹線ひかり号で東京方面へ通勤する人々(7時15分、JR静岡駅上りホーム)

い。静岡県中部の県民性は、悠長に構えて積極的な行動を得意としないのが弱点です。

西村 先日、新宿に新しくできた商業施設に行つたのですが、建物もソフトも、すごいです。東京へ行くのは、ニューヨークやパリへ行くのと同じ感覚です。東京は、将来の可能性を見せてくれますので、感性の高い若い人たちを東京へ出したら、静岡へ戻ろうとは思わないでしょう。

小澤 旧青葉小学校の跡地は、商業地域で容積率600%なので、豊島区役所のように公的不動産を利活用し、歴史文化施設を含む集客性の高い民間施設との魅力ある公民連携事業を検討しています。



静岡市企画局公共資産統括監

小澤敏郎 さん

夢とロマンが持てる
ものづくりの原点に
建設産業は帰ろう

藤田 ショッピングや食事には焼津や藤枝から静岡へ来ますが、住むことについては、静岡に職場があるのに藤枝に住む人が増えている。近隣の市に負けていると感じます。

いろいろな産業とのコラボ、
ひとを育てる教育に力点を

市川 静岡のまちを良くするためには、どういう形があるのか。産業がどう連携していけばよいのでしょうか。



第一建設(株)
代表取締役社長

市川照 さん

安倍内閣の地方創生が
日本再生の
ラスト・チャンスでは

西村 まちにオリジナリテイが必要ですが、いま、私たちがオリジナリテイを考えるよりも、それを考えられる次の世代を育てたほうがいいです。人を育てた産業は、時間がかかりますが、必ず大きいイノベーションをおこしてきます。

建設業は夜の接待が多いようですが、東京で活躍しているIT企業の社長は21時に寝て、朝5時から必要なネットワークをつくって一緒に発展しています。いろいろな産業とのコラボレーションを繰り返しているうちに市場が広がっていくのです。

建設業の被災地でのボランティア活動について、初めて知りました。建設業は、発信できる人たちを育てていくことが必要です。

藤田 定住人口をどう増やすかです

が、教育をキーワードにしたまちづくりが必要ではないか。東京から静岡に若年人口を引っ張りたいたので、静岡でしか受けられない教育システムをつくる。今度、静岡県が東静岡に「大学コンソーシアム」、この大学の授業も受けられる施設をつくりまます。また、留学生を増やしたい。

小澤 静岡県初の建築学科が来春、静岡理工科大学に開設されます。私も「日本列島改造論」を読んで建築をめざしました。建設産業は、若者にとつて夢とロマンが持てる、地図に残る仕事、やりがいを感じるものづくりの原点に帰る必要があります。ぜひ、建設産業のイメージアップを図っていただきたいと思います。

市川 建設産業が異業種の方々とコラボレーションしていくことが地域の活性化につながるのかもしれませんが。教育は、ローカルならではの人の磨き方がある気がします。

高田 いろいろな産業の皆様とのコミュニケーション、情報交換は必要ですね。今回は良いお話をいただき、ありがとうございます。静岡を良いまちにしていくよう、がんばりましょう。よろしくお願ひします。

(平成28年6月14日、静岡商工会議所静岡事務所。文責・企画広報室)